

平成28年度「大学生のための資格業ガイダンス」報告

場所：愛知大学 名古屋キャンパス（名古屋市中村区平池町4-60-6）

日時：平成28年9月28日（水）

12:30～15:30

場所：厚生棟3階（W31W32会議室）

調査士ブースを訪れた学生・・・5名

名古屋自由業団体連絡協議会主催の「大学生のための資格業ガイダンス」が、愛知学院大学に引き続き、愛知大学においても開催された。

開催にあたり、愛知大学事務局の方より挨拶があり、「近年は景気が上向き傾向であるため、大手企業からの募集もあり、資格業について関心を持っている学生は少なく感じる。」との話があった。

調査士ブースを訪れた学生は5名で内3名が法学部、話を聞くと、学部内においても独立志向の学生は少なく、ほとんどの学生が公務員志望とのことであった。最近の若者の安定志向傾向を強く感じた。

学生に「土地家屋調査士を知っているか」と尋ねると「知らない」と答えた学生がほとんどであった。学生としては、「資格内容を知るために訪れた」とのことであったので、業務内容や試験内容など、地図読み人を見せながら説明を行った。業務は初めて聞く内容であったが、コンクリート杭や金属鋸は見たことがあるとの反応があり、その後は身近に感じている様子であった。中には、自身の実家が土地持ちで、相続対策を考えている学生もおり、こちらの説明に対し、熱心に耳を傾けていた。

今回のガイダンスでは、近年の社会情勢の影響を受ける結果となったが、学生に対する宣伝広告や開催場所など改めて見直した方が良いと思う点多々あったように感じた。今よりも多くの学生が土地家屋調査士を知り、興味を持つよう、これからも他の資格業団体と協力し、有意義なものにしていけるよう努めたいと強く感じた。

（広報委員 三浦一行）

